

九州大学経営協議会議事録

日時：平成23年6月23日（木）13:00～15:10

場所：九州大学本部第一会議室

出席者：(略)

【紹介】

委員及び陪席の理事，副学長及び総長特別補佐について紹介があった。

【経営協議会の概要説明】

経営協議会の法律上の位置づけ等について説明があった。

【審議事項等】

1 平成23年度計画について

平成23年度補正予算（第1号）が本学にも措置されたことに伴う平成23年度計画の一部変更について，5月24日に書面開催した本会議において議決され，役員会の議を経て5月末に文部科学大臣へ届出を行った旨の報告があった。

2 国立大学法人評価委員会による第1期中期目標期間の評価結果について

国立大学法人評価委員会による第1期中期目標期間の評価結果について説明があり，平成19年度に実施された暫定評価の結果から，その後の改善取組等により，全般的に向上した旨の報告があった。

3 平成22事業年度に係る業務の実績に関する報告書について

平成22事業年度に係る業務の実績に関する報告書について説明があり，審議の結果，これを議決した。

4 主幹教授の選定について

新たに1名を主幹教授に選定したことの報告があった。

なお，主幹教授については本学独自の制度であり，選定人数の上限は設けておらず，全ての研究分野を対象としたものであること，また，主幹教授は当該研究プロジェクト名を冠した先導的学術研究拠点を設置することができ，これまでに設置された12の先導的学術研究拠点において積極的に研究活動が展開されていることについて説明があった。

5 大学改革活性化制度について

教育研究組織の積極的な見直しを図っていくための新たな仕組みとして，平成23年5月に大学改革活性化制度を創設し，平成24年度から実施する予定である旨の報告があった。

その際，以下のような意見等があった。

- ・ 改革計画の審査はどのような体制で行うのか。
 - 審査委員会を設けて学外者を委員として参画させる等，審査体制を整備し，厳正な審査を行うこととしている。
- ・ 時代の要請に応じて組織を再構築するというのは，非常に良い取組である。

- ・ 施設面において、この制度のように共同で活用するような仕組みはないのか。
→ 伊都キャンパス全学共有スペース、病院地区の総合研究棟等、施設に関する学内の共通利用の仕組みを設けている。
- ・ 毎年1%の範囲内での改革計画という改革のスピードが遅いような気がするが、各部局においても様々な改革が行われていることも考慮すると、全学としてはかなり積極的に様々な改革が進められることになるだろう。

6 国家公務員の給与減額支給措置について

平成23年6月3日に国家公務員の給与減額支給措置が閣議決定されたことについて報告があった。なお、今後、国会における関係法律案の審議状況や他大学の検討状況等に留意しつつ、本学としての対応を検討していく必要があること及び本学としての対応案を策定した際は本会議において審議いただくことになるが、審議日程の都合上、書面により開催する場合もあり得ることについて説明があった。

その際、以下のような意見等があった。

- ・ 仮に法案が成立して人件費を削減することとなった場合、国立大学法人において、その分の人件費はどのように取り扱うことになるのか。文部科学省に返すのか。
→ 具体的な点については、現時点ではわからない。
- ・ 国家公務員の給与法が改正されるということなのか。
→ 給与法の改正ではなく、特別措置法として、法律案が国会に提出されている。
- ・ 法律が成立した後、仮に九州大学としては削減措置を行わないという選択を行った場合、人件費が当該法律に基づいた額しか措置されなければ、不足分は自主財源により措置せざるを得なくなるだろう。
- ・ 労働三権が与えられていない代替措置として人事院勧告の制度があるのに、給与削減措置を実施するという点について、どのように解したらよいのか。
- ・ 現在の経済状況において公務員の給与を減らすことはますます景気に打撃を与えるとともに、公務員の士気のさらなる低下を招くことになるだろう。また、公務員の給与が下がると、民間企業等にも大きな影響があり、民間企業等においても給与が下がることにつながる。負のスパイラルとなってしまう。経済への打撃を加重するような、このような政策は適切ではないのではないか。

7 平成22年度資金運用実績について

平成22年度の資金運用実績について報告があった。

8 平成22事業年度の決算について

平成22事業年度の決算について説明があり、審議の結果、これを議決した。

その際、以下のような意見等があった。

- ・ 運営費交付金による措置、必要経費等を除いて算出した場合、病院としての純粋な収益はどれくらいになるのか。
→ 次回の経営協議会において、現状についてわかりやすく整理したものをお示しさせていただきたいが、近年は一層の経営努力を行い、効果を上げているところである。

9 平成24年度概算要求について

平成24年度概算要求の案について説明があり、審議の結果、これを議決した。

なお、薬学研究院について、2006年から薬剤師の養成課程が従来の4年から6年に変更され、2012年にその最初に入學した学生が卒業することに伴い、大学院博士課程の改組を行うこと、最新のサイエンス・技術の進化にふさわしい教育を行うためには現在のリソース・設備等では不十分であるため、概算要求を行う必要がある旨の説明があった。

10 総長選考会議学外委員の選出について

総長選考会議学外委員の選出について説明があり、審議の結果、7名を選出した。

11 東日本大震災に関する支援と対応について

東日本大震災に関する本学の支援と対応について報告があり、本学のホームページにおいて表明しているとおり、今後も全力で支援を行っていく旨の発言があった。

なお、九州地区で大規模災害等が発生した場合には、互いに連携・協力を行うこととして、九州地区の11国立大学法人間において、大規模災害等発生時の連携・協力に関する協定を締結した旨について説明があった。

【その他】

1 文部科学省「政策のための科学」推進事業について

科学技術イノベーション政策の推進の一環として、現在文部科学省において検討が進められている「政策のための科学」推進事業について説明があった。

2 本学限定菓子詰め合わせ「つるとまつ」について

本学の学生によってデザインされたオリジナルケースを用いた、本学限定の菓子詰め合わせ「つるとまつ」を本学の生協にて販売することとなった旨の報告があった。

3 次回の開催について

次回は9月27日（火）に開催する予定である旨の案内があった。

（ 以 上 ）